

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床医学総論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	酒 井 寛	実務経験とその関連資格	医学博士。国立循環器病センター病院、国立病院機構(大阪、京都、舞鶴など)に勤務。この間、病院付属の看護助産学校、リハビリテーション学院の講師、大阪大学医学部保健学科臨床教授、国際協力事業団専門家 など。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士が現場で遭遇する疾患について病態、症状、所見、治療など基本的な内容について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて記述試験をおこなう。その平均点評価:70% 出席評価:20%。レポート提出状況など平常評価:10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:臨床工学講座 臨床医学総論 参考書:目でみるからだのメカニズム、臨床工学技士標準テキスト、検査データ活用マニュアル、コメディカルのための内科学						
《授業外における学習方法》						
今回の授業内容を把握するため、事前に教科書の内容を確認すること。 配布する演習問題を次回講義までに解いておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床医学総論は範囲が広く、国家試験の出題数も多いため、ポイントを抑えることが大切である。解剖学,生理学,病理学,医用治療機器学との絡みも多く,疾患と関連させて理解すると記憶に残る学習が可能である。各疾患ごとに演習を実施し、理解力を確認する。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	内分泌疾患の概論、下垂体の機能亢進症と機能低下症を説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	下垂体腺腫、巨人症、末端肥大症、下垂体機能低下症、シーハン症候群、尿崩症			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	甲状腺の機能亢進症と機能低下症を説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	バセドウ病、亜急性甲状腺炎、無痛性甲状腺炎、橋本病、甲状腺腫瘍			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	副甲状腺の機能亢進症と機能低下症を説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	原発性/腎性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	副腎皮質と副腎髄質の機能亢進症と機能低下症を説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	クッシング症候群、原発性/続発性/偽性アルドステロン症、アジソン病、褐色細胞腫			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	糖尿病の分類、症状、診断などを説明できる。		臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	インスリン、1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病、ヘモグロビンA1c、グルコース負荷試験			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	糖尿病の治療、合併症などを説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	糖尿病の治療薬、急性合併症、慢性合併症、糖尿病の予防		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	糖尿病以外の代謝疾患(脂質異常症、肥満症、高尿酸血症など)を説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	脂質の分画、脂質異常症、Body mass Index、肥満と合併症、痛風		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	糖尿病以外の代謝疾患(骨粗鬆症、ビタミン、アミノ酸、脂質、糖質など)を説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	骨代謝、骨粗鬆症、ビタミン欠乏疾患、アミノ酸代謝異常疾患、脂質代謝異常疾患、糖質代謝異常疾患		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	腎臓の解剖と生理を理解する。慢性腎臓病、ネフローゼ症候群の病態を説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	慢性腎臓病、ネフローゼ症候群、慢性糸球体腎炎		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	急性腎不全の分類と病態、その他の腎疾患を説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	腎前性/腎性/腎後性腎不全、急性尿細管壊死、尿毒症、溶血性尿毒症症候群		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	外科手術が必要な腎疾患について、手術方法、合併症と対策を説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	腎細胞癌、腎結石、腎結核、動静脈瘻造設術		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	外科手術が必要な腎疾患について、手術方法、合併症と対策を説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	CAPDカテーテル植え込み術、手根管症候群、腎疾患と透析、腎癌、腎移植について説明できる。		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	尿路感染症、腎硬化症、腎癌について説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	腎盂腎炎、膀胱炎、良性/悪性腎硬化症、腎細胞癌、Wilms腫瘍		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	腎盂・尿管の腫瘍、尿路結石症などの泌尿器病学について説明できる。	臨床医学総論 配布プリント	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	腎盂・尿管癌、膀胱腫瘍、前立腺癌、尿路結石症、尿路の先天性異常、男性更年期		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの重要項目について説明できる。		
		各コマにおける授業予定	これまでのまとめ		